

一、午後二時ヨリ歴史的五相會議（企劃院
總裁ヲ加シテ開ク

外相總理條件ヲ若干變更セバ交渉成立
ノ見込アリト云フ全然戦争ノ意志ナシ
海相ハ總理ガ決スベキモノナリトテ責任ヲ
回避ス

二、陸相独リ敢然トシテ總理、外相、海相ノ所
説ヲ反駁ス曰ク

陸軍ハ御前會議決定ヲ變更スル志ナシ
陸帥部ノ概ネ希望至スル時刻迄ニ外交
成功ノ見込アルナレハヤルベシ但シ陸相ト

シテ其見込ニ對シ納得シ得ルモノナルヲ要ス
戦争ノ決意ハ總理決スト云ヘルモ然ラズ
政府ト陸帥部ノ合意ニ依ラザルベカラズ
外相ノ所謂仏印進駐ガ外交ヲ妨害シ
アリト、如キハ末ノ末ナリ

三、海相ハ目途アリトモ云ハズ戦争ヲヤルトモ云
ハズ全然責任回避ナリ

四、總理ハ戦争ノ自信ナシ目下ノ所外交ニ依
ラザルヲ得ズ戦争ヲヤルト云フナラバ自信
アル方ガヤリナサイト速ア
其ノ無責任ナル言語同断凡ソ現任高ヲ

打開スルノ器材ニラズ

五 陸相最後ニ速ニ外交ノ確算アリヤ否ヤノ

決ヘヲナスベシ陸軍ハ聖戰目的ヲ放棄スルガ如キ意圖ハ絶對ニナシト新言シ解散ス

六 要スルニ外相總理ハ勿論海相亦戰事決

意ナシ條件ノ讓歩ニ依リ屈伏セテ又海相主責任ヲ回避シ總理ノ決心次第ニテ動クト及後言シ海軍ハ重責ニ於テ戰事不可ヲ總理ト連絡シテ海軍ノ無責任ナル共ニ國家ノ大事ヲ語ルニ足ラズ

企劃院總裁又政府ト同ジムジナノ欠ナリ

彼亦陸軍軍人ナルノ北有景ヲ全ク放棄セ

ル一政治屋トナレルカト云レバシ

七 散會ニ方リ外相對米回答未ヲ提示ス

陸相態度決マラザル時ニ此ノ如キハ問題

トナラズトテ一蹴セルモ書類ノミ携行ス